



The Japan Automobile Maintenance Colleges Association

JAMCA ニュース

No.77

2013 年 4 月 1 日

発行
協会事務局

編集事務局

全国自動車大学校・整備専門学校協会
 〒160-0015 東京都新宿区大塚町 31
 ヴィップ新宿御苑 ☎ 03-3356-7066
 〒125-0002 東京都葛飾区西亀有 3-28-3
 ☎ 03-3601-2535 FAX 03-3601-2988
 ホームページアドレス <http://www.jamca.jp/>

50 周年記念を原点として

広島自動車大学校 理事長
 広島工学院大学校 理事長
 全国自動車大学校・整備専門学校協会理事

古澤 敏昭

まずは、全国自動車大学校・整備専門学校協会が創立 50 周年を迎えられたことを、こころよりお慶び申し上げます。誠に残念ながら、私は、職務の都合により、記念式典並びに祝賀会に出席できませんでした。しかし、本学園から出席した 3 名から、記念式典・祝賀会が厳粛かつ盛大に行われたと聞き、大変うれしく思っています。

JAMCA の半世紀にわたる活動は、自動車産業界のみならず日本社会全体に、計り知れないほど大きな貢献をしてきました。私はその JAMCA 一員であることを大変誇らしく思っています。しかし、これまでの 50 年と異なり、これからの 50 年は、社会構造の変化、若者（人々）の価値観の変化、急速な技術革新という、様々な環境変化に対応していかなければなりません。これから私たちがやらなければならないことは、「原点に帰る」ということではないでしょうか。

JAMCA 発足当時、私たちは、整備士資格の主流が三級から二級へと変化するとみてその動きに対応するなど、社会において何が必要か、何が求められているかを見極め、その変化を迅速に取り入れて成長してきました。これからは、整備士資格の主流が二級から一級へとシフトしていかなければならないと考えています。しかし、当時に比べ複雑化した社会構造や若者の価値観の変化



などに対しても、私たちは理解し対応しなければなりません。そのためにも、原点に回帰し、変化を見定める必要があるのです。

私たちは、社会における自動車の役割、整備士が担うべき役割、そして若者が何を求めているかを把握し、これらの変化に対応していかなければなりません。少なくとも、JAMCA はその変化に気が付いています。問題はそれにどう対応するか、そしてどう先回りをするかではないでしょうか。そのためには、各校が相互啓発すると同時に、JAMCA として取り組むべきことについては、一致団結していく必要があるでしょう。そうしなければ、私たち自動車大学校、自動車整備専門学校のみならず、社会を支える高度な職業教育そのものの未来が危ぶまれていくのではないのでしょうか。

また、これまで以上に JAMCA と協力団体等とが協力・連携をしていく必要があるでしょう。昨今、新車

登録は減少しても、平均車齢は年々伸長しています。その結果、自動車（乗用車）の保有台数は微増とはいえ伸びているのが現状です。こうしたなか、大都市圏を中心とする各社の販売店等は、将来的な整備士不足を危惧し、必要な人材確保を重要視してきています。他方、JAMCA 全体として見ると、近年入学者の減少が続いているという事実もあります。大学生の就職難が騒がれ、就職できるかどうか若者や保護者の関心事の一つとされるなか、高い就職率を誇る JAMCA の加盟校へ入学者が減少しているというミスマッチが起きているのです。こうした状況を打開するためにも、地域の販売店等と協力し、私たちに對する社会の理解を深めていく努力が必要なのではないでしょうか。

今後 50 年を見据えつつ、人材養成をその使命として社会に貢献し、若者に「夢と希望」を与え続けるために、私たち JAMCA グループが、一致団結し、さらなる飛躍を遂げることを念じています。

CONTENTS

- 2 面 超小型モビリティの展望
- 3 面 我が校自慢
- 4 面・5 面 JAMCA50 周年
記念式典報告
- 6 面 協会トピックス
- 7 面 活躍!! 卒業生・地区通信
- 8 面 私の教材活用・お知らせ・
編集後記